

10.九州(地域別調査機関:(財)九州経済調査協会)

(-:回答が存在しない、 :主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	商店街(代表者)	お客様の様子	・来店客の動きが大分活発になり、購買行動が良くなってきた。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・梅雨の時期なのに全く雨が降らないため、来客数が昨年より増えている。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・天気が良いため、商店街に人が多い。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・来店客数は変わらないが、単価の高い物が出始めた。少し財布のひもが緩んできた。
		百貨店(営業担当)	お客様の様子	・福岡県西方沖地震の影響で落ち込んでいた消費マインドが、随分回復してきた。以前は非常に悪かった午前中のミセスの入店が戻ってきている。
		百貨店(営業担当)	販売量の動き	・ここ数か月、福岡市天神地区における百貨店の売上は実質前年プラスで推移している。特に、販売量が増え、単価アップの傾向がみられる。
		百貨店(売場担当)	販売量の動き	・3か月連続で前年実績をクリアしそうである。今月は雨が少なかったため、衣料品のほか、それに伴って見回り品も好調であった。入店客数は前年を下回るが、客単価自体が上がっている。総合的に判断するとやや良い。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・昨年は消費税の総額表示導入の影響で4~6月と落ち込みがひどかったが、今年はそれを差し引いても売上、客数ともに全体的に底上げされている。生鮮食品等を中心に少し財布のひもが緩んでいる。
		スーパー(店長)	来客数の動き	・昨年は台風が2度来た反動で、今月は客数が非常に多い。雨が降らない事が奏功し、客数が1割以上伸びている。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・衣料品の売上が今月になって少し盛り返して来た。5月まではずっと前年比83%で推移していたが、6月からは前年並みといった状況である。特に婦人、肌着が上向いており、食料品は以前と変わらない。衣料品の底上げが貢献している。
		スーパー(店長)	来客数の動き	・客数の伸びが前年比105~106%前後で伸びている。客単価の伸びは昨年並みである。
		スーパー(総務担当)	お客様の様子	・食品以外の衣料品、住居用品への購買が増えてきている。
		コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・6月は空梅雨で天候も良かったせいか、アイスを中心に飲料、ビールの売上が高く、前年の150%を占めており、全体でも前年比105%の状況である。
		衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・単価は低い但し客数は増えている。
		家電量販店(経営者)	お客様の様子	・お客様の買い物の仕方に、やや余裕を感じる。
		家電量販店(企画担当)	来客数の動き	・家電関係では薄型テレビが主流になってきている。その他には新しい洗濯機、DVD等関心のある商品が出てきており、よく動いている。
		乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・今月から客の来場も多くなり、店も活気が出てきた。
		自動車備品販売店(従業員)	来客数の動き	・徐々にではあるが前年を3%ほど上回って来ている。
		その他専門店 [ガソリンスタンド](統括)	それ以外	・原油高が、精製元売に主導権を移したため、価格コントロールが可能となった。また、原油高騰が一般的に普及したことで、ガソリンスタンドは価格転嫁が可能となり、収益が改善された。
	高級レストラン(スタッフ)	お客様の様子	・福岡県西方沖地震のあと少し落ち着き、客の様子に明るさが見えてきた。	
	都市型ホテル(総支配人)	販売量の動き	・鉄鋼、自動車関連企業の出張時利用が活発である。	
	都市型ホテル(副支配人)	単価の動き	・福岡県西方沖地震地震の傷跡がだんだん回復している事が、単価の動きに現れている。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・今月は天気のせいか日中の乗り込みも良かった。夜の客の動きが良く、特に金土は忙しくなり、夜の売上が伸びている。	

	通信会社（管理担当）	それ以外	・年度当初の受注量の立上が早い。
	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・先月より客足が伸びた。
	競輪場（職員）	販売量の動き	・前年比約5%減の予想に対し、前年実績を上回る発売額が得られた。
変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・依然として販売、単価、客足が上がってきていない。
	商店街（組合職員）	来客数の動き	・平日も来街者が少ない上、土日はさらに激減している。
	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・今まで客足が鈍かった50歳以上の客が増えた。実需型の消費をする客が、気温上昇でカットソー等の軽衣料を中心に購買している。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・昨年6月の郊外大型店オープンの影響が一巡し、今月の前半は回復した。ただし後半は買い控えのためか低迷している。
	百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・3月は売上実績を落とすものの、4～6月は前年並みに推移している。
	百貨店（業務担当）	販売量の動き	・天候に恵まれているというか、空梅雨で夏物衣料・雑貨の動きが例年より、本格的な動きの前倒しがおこっている。不振続きの衣料品の動きが少しずつ力強くなってきた。
	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・客単価の動向を見ると、ロープライスの志向が依然根強く感じる。今後の景気についても、消費はまだまだ慎重である。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・周りに競合店であるチェーン店ががどんどん出店しているため、非常に悪い状況が続き、客数が減っている。
	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・依然高単価商品の不調、買上点数の低さが顕著である。
	コンビニ（店長）	単価の動き	・客数はそう変わらないが、今まで2つ買っていたのを1つにするなど、客単価は落ちている。
	衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・セール前の時期でも極端に売上は落ちていないが、品選びが慎重で、客数、単価共に伸び悩んでいる。
	衣料品専門店（店員）	単価の動き	・単価の動きと販売量の動きと両方を感じる。夏ということもあり、軽装なので従来の品物に対する単価は冬に対して下がる。来客数は多いものの、実売につながるのは安いものである。見に来ているだけというケースも多く、多くの客がセール待ちである。7月からのセールに期待するしかない。
	衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・好天気で夏物が好調である。特に紳士、婦人の雑貨や衣料品の売上が前年比を上回って推移している。来客数も前年比5～7%増であり、前年実績をクリアしそうである。
	家電量販店（店員）	来客数の動き	・ようやく暑さがやってきたが、反面降雨量が少なく除湿機等の動きが悪いという皮肉な結果になっている。
	家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・空梅雨で季節商品の動きが鈍く、他の商品まで悪影響を与えている。
	乗用車販売店（管理担当）	お客様の様子	・商談はまずまずあるが、なかなか客の決断が鈍く、商談成立までいかない。来場数は多いが、車という高価な買物は即決というわけにいかないため、3か月前とほとんど変わらない。ガソリンの価格上昇も若干影響している。
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・販売量の傾向値が3か月前とほとんど変わらず、前年より若干低下している。
	住関連専門店（経営者）	単価の動き	・来客数は依然として少なく、ここ数か月続いていたプライダル家具の動きが止まった。
	その他専門店〔書籍〕（店長）	販売量の動き	・流通業の中にいると景気回復が実感できない。もちろん競合の厳しさは有るものの、購入単価からは支出額の抑制を強く感じ、消費の伸びは感じられない。
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	販売量の動き	・原油の高騰もあり、燃料油の石油元売仕入価格も上昇している。小売や大口需要家への価格を上昇させたが、販売量は昨年と比較してもほぼ横ばいである。
その他小売〔雑貨卸〕（総務担当）	販売量の動き	・販売量はさほど変わらないが、単価が低く、利益はない。特に生コンの単価は低い。パイが限られているので、安値受注に走ってしまう傾向である。	

	観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・予算を若干下回ったが、前年を10%程度上回っている。
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・高単価のハワイやヨーロッパが好調である反面、グアムは不調である。国内は沖縄と万博に集中している。
	タクシー運転手	お客様の様子	・夜の人の動きはあまり変わらないが、昼の人の動きが悪い。
	タクシー運転手	お客様の様子	・客は動いているが、単価が低いため売上には結びついておらず、3か月前とほとんど変わっていない。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・少しでも安いものを求める客が多い。
	通信会社（業務担当）	販売量の動き	・週末の販売台数の伸びがあまりない。例月の月末の盛り上がりもなく、需要喚起のため価格見直し等もやむをえない。
	観光名所（職員）	来客数の動き	・観光施設では、入園者数が昨年より10%落ちている。一方ゴルフ場は、好天により昨年に比べ入場者数は増えている。ただし、団体客は愛知万博に流れている。
	ゴルフ場（従業員）	単価の動き	・ゴルフのプレー代の単価が前年に比べ1割落ちており、入場者数を1割増やすことで前年実績を維持している。娯楽費を節約している人が多い。
	ゴルフ場（スタッフ）	競争相手の様子	・既存のゴルフコンペのみで、新規のものは増えない。また、近々になっての予約が少なく、当月の伸びに繋がらない。
	美容室（経営者）	販売量の動き	・ボーナスが出る頃なのでいつもは商品が出るが、今年は全く出ない。
	設計事務所（代表取締役）	お客様の様子	・公共事業については、市町村合併により指名競争入札の方法が変更された自治体がみられ、これまでの実績が考慮されない状況となっている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・4月の段階でかなり来客数が減少している。最近では雨が降らず暑い日が続いたため、商店街の客層である高齢者は来街されず、近くのコンビニで済ませている。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・店内店頭の商品の品代わりがない。
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・お客様対象の店外催事、店内催事場共に来場数が伸びず前年割れしている。また、DM催事も来店促進出来なかった。3日間限定のカードの割引催事は、好調であった。顧客対象が明確でない催事はお客様に受け入れられない。
	百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・入店客数は前年並みだったが、売上が前年を割った。
	百貨店（販売促進担当）	それ以外	・百貨店の主力である婦人服関連・食料品等は相変わらず低迷しているが、クールビズ関連商品が伸びている。紳士部門はここ数年低迷傾向であったが、クールビズ関連商材は好調であり、シャツが前年比20%増であるほか、ジャケット・パンツ等も好調である。
	スーパー（経営者）	販売量の動き	・定期昇給がなくなったほか、ボーナス減少の不安感もあり、買い控えが多い。また増税等で実質手取り金額の低下等による買い控えが起きている。
	スーパー（経理担当）	販売量の動き	・気候の関係で野菜、特に葉物の値崩れが激しく、販売額が激減している。また、湿気取り・傘などの梅雨時の必需品の売上が悪い。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・急激に悪くなった。先月より相当悪くなっている。
	コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・パン、弁当は量販店が18店あるが前年比2割減である。コンビニ、ローカルスーパー向けで前年比10%減である。
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・客の動きが今ひとつである。いい商品を入れて販売しているつもりだが、不調である。売上は伸びないものと考え、利益の出る方法を考えなければならない。
	高級レストラン（経営者）	競争相手の様子	・先月テレビで放送された影響で、6月は昨年より多少は良くなっているが、近所の割烹旅館では宿泊客の減少が目立っている。
	高級レストラン（専務）	来客数の動き	・九州新幹線開業効果も薄れ、焼酎も少し飽きられており、県外客が愛知万博に流れている。また地元客は郊外店に流れている。

		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・愛知万博開催のため、九州への入込客が少ない。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・空梅雨の影響もあるのか、市場が安定しておらず、客の動きもあまりない。おしゃれ業は夏枯れの様相があるのでこれから少しペースダウンしていく。
		美容室（店長）	お客様の様子	・店を30年近くしているが今までで最も5月の売上が最低であった。納税が影響していると思うが、低料金の店も増えているのでいろいろ考えさせられた。しかしここ2、3日急に暑くなり、我慢できずに来店したという客が多かった。
悪くなっている		一般小売店〔青果〕（店長）	単価の動き	・青果物全般が安値傾向にあり、売上、粗利ともなかなか取れないでいる。
		百貨店（営業担当）	競争相手の様子	・郊外大型店がオープンして約1か月たったが、特に同店がクリアランスに入ってから中心街の集客が落ち、各店非常に厳しい状況である。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・競争店が多数出たことで、客数が前年比10%減という状況が続いている。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・ディスカウント店や中規模店のオープンによる客数減が続いている。また、野菜の相場安や、ディスカウント店の低価格米の購買傾向が拍車を掛け、苦戦を強いられている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・梅雨時期に少雨のため、田植えが大幅に遅れ、農業関係の客の来店がない。
		一般レストラン（スタッフ）	それ以外	・今月は、レストランの客が農業関係者が多いということもあり、農繁期で来客数も売上高とも伸び悩む月であるが、それでも売上は前年比95%であり、景気は悪くなっている。
企業動向関連	良くなっている	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・契約金額はさほど大きくないが、リフォームの受注件数が非常に多くなった。新築工事は厳しいが、リフォーム事業を経営の柱にできれば利益率も上がる。
	やや良くなっている	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・梅雨に入り消費の落込みを心配していたが、今年は雨が少なく、惣菜、加工品が順調に伸びている。また居酒屋関連の引き合いも強い。加工メーカー筋も牛・豚・鳥の輸入品が入らないため、相変わらず国産への要望が強い。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・半導体関連の金型部門が総じて動き出している。ただし、大手企業においても良いところと悪いところの格差が今も出ている。総じて景気上向きとまではいえない。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・競合相手、同業者も受注は前年比100%を超えている。
		その他サービス業〔物品リース〕（役員）	受注量や販売量の動き	・取引先の設備の話が具体化されており、それに伴って、当社の契約額も若干増えている。
変わらない		農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・プロイラーが依然として好調である。アメリカの輸入牛肉も入ってきておらず、国産志向も強くなっている。
		農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・園芸作物は、作上げ時期で出荷すべきものはない。露地物が中心となるが、出荷量はあまり多くない。唯一の園芸作物であるマンゴーは、価格も上々であり、最盛期を迎えている。
		繊維工業（営業担当）	競争相手の様子	・繊維の織物工場、ボタンなどの付属品製造工場、すべて暇なところが多い。クールビズが影響している。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・資金需要が依然として低迷している。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・例年にないほど晴天が続いており、販売業を主体として売上高、客足が順調に推移している。雨が喜ばれる企業体にとってもまあまあの状況が続いているようで、5月の連休以降の落ち込みから回復している。
やや悪くなっている		窯業・土石製品製造業（経営者）	競争相手の様子	・人員整理を行ったところもあり、金曜日から3日連続休んでいるところも出てきている。夏場の受注減が今年は例年より早い。
		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量の減少のみならず、販売価格も下落している。
		経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・関東関西地区での芋焼酎の売上にかげりが見え始めている。

	悪く なっている			
雇用 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・大型複合施設の進出に伴い大量のパート求人の募集があり、パートタイムをめぐる労働市場が活発化している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・最近の派遣の状況からみると、長期派遣を優先している人のほうが良く決まっている。契約期間の更新の交渉が昨年よりもスムーズである。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・例年この時期になると求人もひと段落し、後半から夏の需要に向けての求人が動き始めるが、今年は全般的に人手が不足している。
		職業安定所（職員）	それ以外	・ここ2～3か月は前年並みの数値である。全体の月末現在の被保険者の総数については、4月末段階で前年比2.1%増加している。
		民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・職種と地域によって多少のばらつきがあるものの、総じて派遣需要が増加傾向である。
	やや悪く なっている			
悪く なっている	-	-	-	